個人的なもので市全体の行政にいかすようなものではない、とされていることでしょう。市民からみると、以前提案したのにどう評価されたのか分からない。聞く耳を持っていたのか、実行する気があったのかと、もどかしい気持ちになっています。市と市民の間に大きなギャップがあります。行政は市民目線の新しいものにとってかわらなければなりません。

これからはこうしたらどうでしょうか。市民の声を市民担当職員あるいは市民係を置いて仕事として市民の声を聞きます。その担当者が担当部署に持ち上げて、時期や予算や体制を考えて仕分けをします。見通しを翌月の広報などに掲載します。市民に知らせることが必要だと思います。情報の公開は原則です。仮に伏せる情報であっても 10 年で公開してはどうでしょうか。担当職員あるいは係を置いて、最初から最後まで市民に知らせるまでのことを行うと、声を上げた市民は行政に役立って「声を上げて良かった」となります。この関係を続けていくことが、これからの行政に求められています。この仕組みこそ作ってください。

市長

ありがとうございます。他に立ち上がりのご意見をいただけますか。

市民

私は過去に数回、(長野県)小布施町の役場に行き、総合計画書をもらったり、分かりやすい予算書をもらったりしました。小布施の納税率は今は 99%位で、生活に困っている人以外はほとんど納めています。情報公開が積極的に行われ、住民協働が行われるようになるに従って納税率は上がるようです。小布施では、総合計画書も全世帯に配布しています。12,000 人位の町で 1,000 人にアンケートをとり、その結果を総合計画の作成にいかしています。それから分かりやすい予算書、これも数年前から全世帯に配布されています。子どもたちのまちづくりに対する意識も高めていて、毎年子どもたちからの提案も受けています。総合計画の策定に関しても自治会ごとに懇談会をやり、分野ごとに何回も議論を重ねています。それから役所や自治会にはまちに対する「私の意見箱」というものがあります。三浦市でも、広報紙を配布しに行ったときにそれを回収してくるとか、そういうことをすればいつでもできるのではないのでしょうか。それから、分かりやすい予算書を配布することで全住民が見るので住民も意見が言いやすくなり、職員も緊張感があって、ムダがなくなっていくと思います。それから、行政の資料関係は役場だけではなく、図書館、公民館で一か所に集めて住民が誰でもそこに自由に行って調べて勉強できるといいと思います。そういうことを通じて前向きな意見が多く寄せられます。それを町で受けとめて、名前があれば本人に返す、そうじゃなければ選んで町の広報紙に載せるとか、インターネットに載せるということをしています。

市長 ありがとうございます。

市民 小布施は良いまちだと思いますが、三浦より人口が少ないし、すぐ取り入れることは大変なので、まず市で一番重要なことを解決しないとイケないと思います。財政難で一人あたり大きな借金がありますが、地に足がついたお金のことが一番問題だと思います。

市長 他にありますか。

市民 電子メールについて、一人から発信する情報はそれはそれで貴重ですが、あまり過度な期待をかけるのはどうかと思います。1 + 1 + 1は3ではなくて5になるからです。一人の意見よりも大勢集まってやったほうが素晴らしい提案が出てきます。

それから今日のトーク&トークですが、平日の午後3時から4時です。この日時に市民の声を聞くということはどうも解せません。より幅広い市民の声を聞くのなら例えば土日、みなさんが出てこられるような時間をもっと考えられたらと思います。それと、もっと若い人の意見を聞くことが必要だと思います。特に中学生です。中学3年生と年に1度でいいから、例えば昼食会などをやって、三浦市についてどう考えているかという話を聞いてはどうでしょうか。年配者に聞くよりも新鮮な提案がなされるかもしれません。当然我々の世代の意見も参考にしてもらわないと困りますが、若い人がこれから三浦市を背負っていくわけですから。それと、私のように生まれも育ちも三浦という人と、余所から来る人がいます。横浜から三浦に来た方とたまたまお話することができましたが、我々の知らない三浦市の良さ、三崎の良さを語ります。そういう人たちの意見を聞いて三浦市の良さをもっと伸ばすこともこれから考えられたらどうかと思います。

市民 私もとても賛成です。若い人の意見もすごく大事だと思います。今の中学生は、三浦が繁栄していた時期を知らないのも、とても参考になると思います。震災後に戦後に戻ったみたいな感じで心が一つになれたみたいなところがあります。新しくこれから何かするには良い状況だと思います。

市民 トーク&トークも三浦市の議会も、勤めに出ている人が出られるように、土日に何回か開催して、市民がそこに傍聴できる体制を作ってほしいと思います。

市民 私は今回ホームページに掲載されているのを見て、時間があつたので参加しました。そういう情報が流れてこないのも、例えば三浦海岸とか、商店街にチラシ・

掲示があれば、それを見て参加できると思います。なので、そういう「掲示」を積極的にやっていただけたらなと思いました。

市民 小布施の町役場に入った玄関のところに、議会で何月何日はこの人がどういう内容で一般質問をしますということが全部張り出されていきました。病院にもありました。三浦市だと議会の広報が回ってくるのは2か月くらい後で、こういう質問があつてこういうやりとりがあつたと紙ではまわっていますが。

市長 そちらの方はいかがですか。

市民 私の所属している団体では選挙の前に選挙の候補者を集めて公開討論会を行っています。よく言われたのは「情報が少ない」ということでした。でも、本当に行きたい人はチラシや掲示板で確実に探してきます。掲示のためにチラシを刷るのに市民のお金を使わなければいけないのなら、インターネットや市民報への掲載を試験的にやってみてはどうでしょうか。本当に興味がある人や魅力を感じる人がいればそこから見つけてくるはずだと思います。

市長 議会を勤めに出ている人のために土日や休みの日にやった方がいいというお話はよく分かります。トーク&トークは土日や夜間に開催したこともあります。しかし、あまり人が集まりませんでした。議会は、議会改革のための特別な委員会を設けていて、改革に取り組んでいます。議会の土日開催のご提案が市民の皆さんからあつたことは議会に伝えさせていただきます。掲示板ではありませんが、三浦市も京浜急行に協力していただいて駅の中に市の刊行物や観光パンフレットを置いています。また、各自治会の掲示板を使ってお知らせを掲示しています。ただその掲示板が本当に活用されているのかは疑問に思うところもあります。自治会に掲示板がきちんと活用されているか、掲示板の必要性を検討いただけないかという投げかけをしています。駅の近くに掲示板があれば確かに便利かもしれません。検討すべき課題だと思います。それから電子メールに過度な期待をしない方がいいとおっしゃっていましたが、我々もそういう認識です。また、電子メールだけでは確かに馴染んでいない方もいるので、それは何らかの手段で代替できるものを検討します。小布施については、小布施の規模だから可能な仕組みもあります。小布施は有名なので当然三浦市としても小布施の研究はしていますが、小布施よりも先んじて部門経営という発想は取り入れています。他に何かございますか。

市民 この三浦で一番欠けているのは、提案なくして反対・反対のオンパレードというところだと思います。これからは市民が「市長、こうすれば財政の負担軽減になるんじゃないか」といった提案を発信したいと思います。

市民 先ほどの掲示板ですが、視覚で捉えることは自分から見ようとしないと見えないです。防災三浦が流れていると、自分から見にいかなくても耳に入ってきます。あの放送を使って「今月はトーク&トークがいつあります。」ということ放送できるのではないのでしょうか。

市長 防災三浦は緊急放送のための放送なので、何かあったときに放送が流れていることに注意を払ってもらえるように、それ以外のものについては放送しないようにしています。

市民 三浦市のFM放送を立ち上げるというのはどうでしょうか。

市長 FM放送の開局にはものすごくお金がかかります。自治体が出資をしないと立ち上がらない状況です。横須賀や鎌倉にはありますね。三浦市でも検討しましたが、財源がありませんでした。

市民 民間にはアイデア提案制度というものがあります。これは少しでも提案を活性化しようという活動で、良い提案には賞金を出しています。どの程度が良い提案なのかは判断していただくのですが、三浦市もインターネットで良い提案、素晴らしい提案があればそれに対してそれなりのことをしてあげることがあれば活性化に繋がるかもしれないので、それも考えられたらと思います。要するに出せば良いということではなくて、「出せばそれなりに返ってくるんだ」ということがあれば違ってくると思います。

市長 市民政策提案制度というのはいいかもしれませんね。例えばお金を出すとかではなくて、記念品を贈るとかでもいいわけですね。

市民 言ったことに対して反応があると信頼できるようになりますね。

市民 今市でやっている安全安心メールや防災メールのメール配信がありますが、市報に載っている情報も配信してくれるといいと思います。

市長 今防災メールと安全安心メールがそもそも別になってしまっていて、何とか一つ

にできないかなとは思っていましたが、市政情報をメールで配信するというのは有効な手段かもしれませんね。

市民 議員の歳費ですが、三浦市と小布施では差がありすぎるという印象です。民間では平成8年位から給料がずっと下がっていますよね。それが三浦は平成8年からずっと変わっていない。この辺をどう見るのでしょうか。

市長 土日に議会を開催してほしいという話と合わせて、報酬の件がトーク&トークで話題になりましたと議会に伝えます。私の立場では、高すぎる、安すぎるということ言うのは難しいです。

市民 議会の改革のスタッフというか議論する人が議員さんだけではなくて、学識経験者なり市民が入って改革の議論をする必要があると思います。自分のことを自分ではなかなか決められないですから。

市民 最初の話に戻りますが、インターネット目安箱の「インターネット」という言葉は取った方が良くと思います。色々な人がいるわけですから、インターネットだけではなくて手紙、ファクス、それに今は携帯の時代ですから、モバイルサイトを拡張して携帯電話から投書・受付けをできるようにすると良いと思います。市役所や出張所・市民センターなどに少なくとも目安箱と投書用紙を用意すべきです。これを用意しないでいきなりインターネットではおかしい話です。それと、図書館にパソコンを1台配置してほしいです。市の情報をそこで色々と見ることもできます。そのためにも図書館には最低1台は用意すべきです。それから以前暮らしのガイドができて嬉しかったですが、中身を見て少しがっかりしました。物足りない。内容的にも不十分なところがある。見づらい点もありました。暮らしのガイドに限らず市の広報物でも何でも作る時には市民代表を募って編集委員会に参加させて市民の声をそこに反映させるということも一つの手だと思えます。

市長 貴重なご意見だと思います。ありがとうございます。

職員 それではお時間になりましたので、このあたりで終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。